

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。

歴史を包んだ「滝の焼餅」

●あわっ子文化大使リポーター
徳島県立城ノ内中等教育学校 田川 陸珠



皆さんの中で「滝の焼餅」を知っているという方はどのくらい多いでしょうか。

徳島の隠れた郷土銘菓となっている滝の焼餅は、江戸時代に蜂須賀家政公が、阿波25万石の国主として徳島城を築き、その祝いに献上されたものです。藩主愛用の眉山の湧水「錦竜水」の使用を許され、藩主の御用菓子として名声を博しました。その400年前の歴史が続いているのです。

1900年頃ポルトガルの海軍士官だったヴェンセ・スラウ・デ・モラエスさんは、滝の焼餅が大好きだったそうです。うるち米ともち米を石臼でひき、天日干しをした皮は、噛みごたえにアクセントがあります。中に入ったあんこは、二つ目へと手を伸ばしてしまおうになる素敵な味です。

400年前の歴史と眉山にあふれる自然、そして滝の焼餅を味わいながら、私たちの徳島を愛してはいかがでしょう。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
グローバル文化教育課 ☎088-621-3054 FAX088-621-2882



滝の焼餅



阿波牛角煮

肉全体にまろやかさと甘みが同居しており、柔らかな中に弾力があります。きめが細かく良く締まった赤身と見た目にも美しい霜降り肉を兼ね備えた黒毛和種です。

●阿波牛バラ肉600g ●ニンニク2片
●煮汁(醤油と昆布の出汁400cc、醤油150cc、みりん250cc、砂糖50g)

①牛肉を適当な大きさに切り、フライパンで焼く
②圧力鍋に牛肉と煮汁、ニンニクを入れ10分煮る

◀徳島県チャンネル(YouTube)でレシピ動画公開!もうかるブランド推進課



「スマート農業」を、学び、実践する、新たな時代へ。

積極的な技術開発で、スマート農業を実現!

県では、日々進化する通信技術・農業機器を活用した栽培の研究や先端技術を駆使する人材の育成などを推進。スマート農業の実現に向けた取り組みを加速させています。

農業における5Gの活用

農林水産総合技術支援センターに「ローカル5G基地局」開局(R3.4.8)

●自治体で全国初! 屋外利用に最適な「4.8GHz帯」の活用

5G

超高速 ▶現行4Gの100倍速いブロードバンドサービスを提供
超低遅延 ▶リアルタイムに遠隔地のロボット等を操作・制御
多数同時接続 ▶スマホ、PCをはじめ身の回りのあらゆる機器がネットに接続



ローカル5Gアンテナ

未来技術の実装

●農業大学校へのスマート技術導入

- スマートグラスで作業のポイントを学べる「実習システム」の整備
- 熟練農業者の「匠の技」のデジタル教材化
- タブレットによるリモート授業



「スマートグラス」を活用した実習

●スマート技術の開発

- 「AI」を活用した果樹の「作業支援システム」の開発
- ▶ミカン、ウメなど果実の「収穫適期」を判断



「AI」による熟度判別

●「ドローン」を活用した病害虫防除技術の開発

- ▶病害虫の発生状況を迅速かつ正確に把握、被害箇所をピンポイントで防除



「ドローン」による被害の把握

●施設園芸アカデミー講座概要

※今年度の受講生募集は終了。次年度の募集は令和4年4月頃の予定です。

●スマート園芸入門コース

- 施設園芸における環境モニタリングや植物生理に基づく環境制御技術の基礎を座学で学ぶ。
- 講座/①総論クラス(品目全般) ②各論クラス(キュウリ)
- 研修期間/7月~翌年2月(全3回)
- 対象/県内農業者(農業法人の従業員等を含む)または就農を予定している者

●スマート園芸実践コース

- 施設トマト栽培において、高収量、高品質を実現する環境制御技術について現場研修と座学で学ぶ。
- 研修期間/7月~翌年3月(全8回)
- 対象/環境測定機器を導入または導入予定のトマト栽培者
- 施設園芸アカデミーのお問い合わせは 農業大学校 ☎088-674-1026



●お問い合わせ先/経営推進課 ☎088-621-2429 FAX088-621-2858

地域農業の課題に立ち向かうため、スマート農業を導入。

JAMMA 田中浩司さん

600を超える農地を管理し続けるために、高齢化や後継者不足により、遊休農地が増加傾向にあったJA美馬では、平成18年に「アグリサポート美馬」を設立しました。「中山間地域で農地が点在しているため維持管理が難しく、専業農家による一括管理も厳しい状況にありました。農家からの要請もあり、農作業の受委託を行う組織が必要となったのです」とJA美馬の田中さんは振り返ります。

「すでに600を超える農地を借受けていますが、すべての農地の場所や作業内容をスタッフ一人ひとりが把握し、多くの経験が必要とする農作

業を季節ごとに行うのは非常に難しいこと。そこで取り入れたのがスマート農業です。農家の協力も得て、タブレットの画面に管理する農地の場所や作業の進捗状況などを表示できる農

地管理システムをはじめ、自動走行するロボットトラクターや、収穫時に品質や収量をデータ化するコンバインなども導入。農作業の省力化や大規模化につながるのと同時に、若手にと田中さんは未来への抱負を話してくれました。

「今後は農作業の支援だけでなく、スマート農業の普及にも力を入れます。若い世代が地域の農業を支え、私たちが共に地域を盛り上げていくことが理想だと思います」と田中さんは未来への抱負を話してくれました。



●農業用ドローンで、農地の散布作業を効率化しています。



●刈取り時に収量などを把握できるコンバインとJA美馬の田中さん(左)、アグリサポート美馬の黒長さん。

環境制御技術を高め、世界水準の収量を目指す。会社員だった尾田さんが、祖父の代から続く実家のトマト農家への転職を果たしたのは約10年前のこと。農業を始めてから数年後に、環境制御技術という言葉に出会ったと言います。

「それまでのトマト栽培は、長年の経験や勘がモノを言う時代でした。水のやり方一つをとっても、その日の天気や温度を肌で感じて決めるといった感じ。それに比べ、データ

に基づいて水や肥料の量やタイミングを自動管理できる環境制御技術は、若手だった自分にとって、もすごく魅力的なものでした。尾田さんが施設栽培に環境制御技術を取り入れるから約7年が経ち、トマトの収量は当時と比べて約30%アップ。その成果は確実に現れていると言います。

「3代目として父から事業を継承するにあたり、一人前になるためのステップとして選んだのが施設園芸アカデミーの受講です。現場研修や座学を通

じ、高収量・高品質を実現するための知識を1年間にわたって学べるのは本当に大きいですね。参加者たちの環境制御データを持ち寄り、専門家の解説を受けながら、それぞれの良い部分を吸収できるのも他にはない魅力です。この講座を通じて出会った生産者との横のつながりを大切にしながら、さらなるレベルアップにつなげていきたいと意気込む尾田さん。スマート農業への挑戦は、これからも続きます。



●この日は、栽培施設で専門家からリモート講義。



●さらなる高収量生産を目指し、施設園芸アカデミーを受講する尾田さんと2期生の皆さん。

県庁だより

- 資格・試験
 - 県立学校実習助手選考審査(普通・農業) 県立特別支援学校寄宿舎指導員選考審査
 - 職業訓練指導員採用試験(設備施工科)
 - 令和3年度砂利採取業務主任者試験
 - 自治医科大学入学試験要項頒布中
- 県営住宅入居者募集
- 障がい者職業訓練生
- 県立中央テクノスクール訓練生

徳島県新型コロナ関連相談コールセンター

- 受診・相談センター
- その他、県内のコロナウイルスに関する一般相談窓口
- 新型コロナワクチン接種に関する、副反応等のご相談は...
- 新型コロナワクチン専門相談コールセンター

スタジアムに行こう!

いよいよシーズン終盤戦。スタジアムで徳島ヴォルティスを応援しよう!

10/23(土) 14:00~ 大分トリニータ

11/3(水・祝) 14:00~ セレッソ大阪

●はかりの定期検査(阿波市)

●出張労働相談会(西部)

●オープンとくま・パブリックコメント